

健康と信頼をお届けする



日清製粉グループ

結ぶ心、 つなげる未来

日清製粉グループ
社会・環境レポート2012



日清製粉グループの経営理念

企業理念

日清製粉グループは「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を社是とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」ことを企業理念として、生活産業をグローバルに展開してゆきます。

日清製粉グループの企業行動規範・社員行動指針

1. 健全な事業活動と持続的な発展
2. 安心・安全で高品質な製品・サービスの開発と提供
3. 人間性の尊重
4. 社会規範の遵守と公正な企業活動の推進
5. 適切な広報活動の推進
6. 環境保全の推進
7. 社会貢献活動の推進
8. 現地に根ざした海外事業の推進
9. 本規範及び指針の実現に向けての経営者の役割と責任

「日清製粉グループの企業行動規範」 <http://www.nisshin.com/csr/vision/model/>

「日清製粉グループの社員行動指針」 <http://www.nisshin.com/csr/vision/principle/>

お読みいただくにあたって

日清製粉グループでは、ウェブサイト「CSRの窓」と「社会・環境レポート」(本冊子)の2つの媒体を通じて、ステークホルダーの皆様へ当社グループの社会的責任に対する姿勢や取り組みをお伝えしています。

「CSRの窓」はCSRに関する取り組みの全体を紹介し、本冊子では当社グループが重要と考える課題に対する具体的な取り組みを中心に、わかりやすさに配慮して紹介しています。

参考にしたガイドライン

GRI「サステナビリティ レポートニング ガイドライン」第3版
環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)
ISO26000「社会的責任に関する手引」

報告範囲

【対象期間】

2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)の事象について報告しています。

【対象組織】

原則として(株)日清製粉グループ本社および連結子会社・持分法適用関連会社54社(2012年3月末現在)を対象としています。グループ全体の情報を十分に把握できていない事象については、報告の都度、対象組織を明示しています。なお環境報告の対象範囲は、(株)日清製粉グループ本社および連結子会社合計39社となっています。

前回の報告書以降に発生した事業変更など

- ・フランスのユーロジャーム社との合併会社で中国で改良材等を取り扱う欧諾嘉(上海)商貿有限公司が本格的活動を開始(2011年6月)
- ・日清エンジニアリング(株)がホソカワミクロン(株)との業務提携契約を締結(2011年11月)
- ・オリエンタル酵母工業(株)がシンガポール駐在員事務所を開設(2011年11月)
- ・P.T.NBCインドネシアの生産能力を2倍に増強(2011年12月)
- ・(株)日清製粉グループ本社とオリエンタル酵母工業(株)がインドに現地法人(Oriental Yeast India Pvt. Ltd.)を設立(2012年1月)
- ・オリエンタル酵母工業(株)が総菜工場(千葉県富里市)を新設・稼働(2012年2月)
- ・米国の製粉会社Miller Milling社を買収(2012年3月)

ステークホルダーの呼称について

本レポートでは、「お客様」とは、「消費者の皆様」および「お得意様」を指しています。

発行日について

2012年9月(前回2011年11月 次回2013年8月予定)

お問い合わせ先

(株)日清製粉グループ本社 技術本部 環境管理室
TEL 03-5282-6570 FAX 03-5282-6155

絶え間ない変革により、 ステークホルダーの皆様 から積極的に支持される 会社を目指します。

中期経営計画の策定について

当社グループは創業120周年となる2020年を見据えた長期的な視点に立ち、中期経営計画「NNI-120 スピードと成長、拡大」を策定し、本年4月よりその取り組みをスタートしました。そして、2014年度までを対象とする3ヵ年計画において、トップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大を最優先に個別施策の実行に着手しており、最終年度の数値目標である売上高6,000億円、海外売上高比率14%、営業利益300億円、ROE6.7%の達成を目指しております。



社会的責任への取り組み

当社グループは、中期経営計画達成に向けて、個別戦略を着実に推進する一方、社会にとって真に必要な企業グループであり続けるべく、絶え間ない変革をとげるとともに、引き続き、企業の社会的責任を果たしてまいります。

当社グループは、コンプライアンスの徹底や、トレーサビリティの確保等品質保証体制の確立、環境保全活動の推進等のCSR活動を経営の最重要課題の一つと位置付け、グループ全社に徹底しております。

国民の主要食糧である小麦粉等の安定供給を確保し、安全な製品をお届けすることは当社グループの重要な社会的使命です。震災の経験を活かし、BCPをさらに実効性のあるものに改善し、災害への備えを拡充してまいります。

また、製品の開発から原料調達、製造、保管、流通の各段階で独自の基準を設けるとともに、マネジメントシステムの構築により、品質保証の徹底と継続的な改善を進めてまいります。

地球環境の保全に関しては、グループ全体のCO₂排出量を1990年度比で8.6%削減するとした自主目標を2009年度より達成しております。本年度以降も、電力問題の影響など状況を見極め、引き続き必要な施策を実行してまいります。

地域社会に貢献する

また、当社グループは社会の一員として、東日本大震



株式会社日清製粉グループ本社
代表取締役
取締役社長

大枝 宏之

災被災地の復興支援を始め、社会的な要請に応えていくよう努めております。

東日本大震災被災地の復興には長い時間を要するものと考えられますが、当社グループは今後とも継続して復興を支援してまいります。

さらに、当社グループは食品企業の特性を活かした社会貢献事業にも取り組んでおります。本年秋を目的に当社発祥の地である群馬県館林市に製粉をテーマにした情報発信型・体験型の企業ミュージアムとして“製粉ミュージアム”を開設し、同市における観光資源や教育資産としても寄与してまいります。

志の高い人材の育成

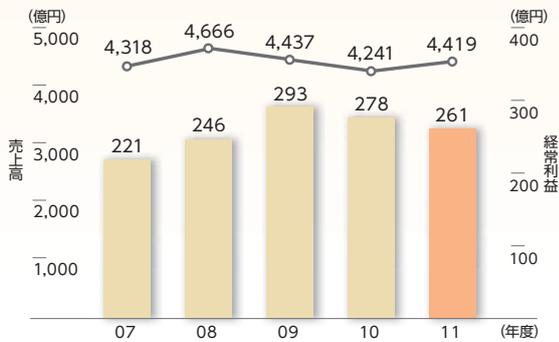
当社グループは創業以来、常に時代の動きに応じて製品や会社の仕組みを変化させることで事業を継続してきました。今後も、自ら時代に適合する会社であり続けるため、自主自律の精神を持ち、感度に優れ、志の高い人材を育成します。そして、社員一人ひとりが当社グループの社員であることに誇りを持ち、自信を持って仕事に取り組んでいく会社を目指してまいります。

事業概要

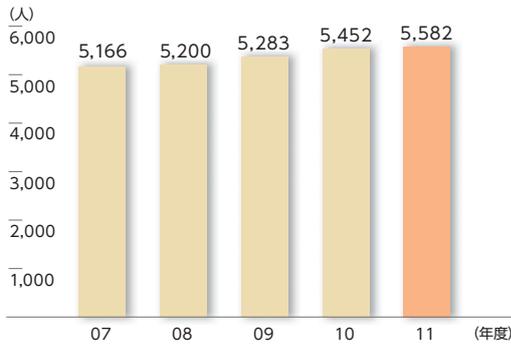
日清製粉グループは、2001年7月に分社し、現在は持株会社である「日清製粉グループ本社」と112年の歴史を持つ製粉事業を通じて培った技術を起点に、「加工食品」「中食・惣菜」「酵母・バイオ」「健康食品」「ペットフード」「エンジニアリング」「メッシュクロス」の分野で事業戦略を展開しています。

社名／株式会社日清製粉グループ本社
 所在地／東京都千代田区神田錦町一丁目25番地
 創業／1900年(明治33年)10月
 資本金／17,117百万円
 発行済株式の総数／251,535,448株 2012年3月31日現在

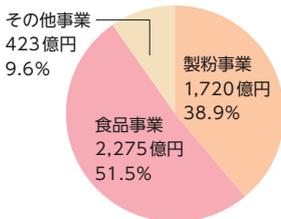
売上高(連結)・経常利益(連結)



グループ従業員数(連結)



セグメント別売上高(連結)



従業員の状況(連結)※

事業	従業員数(人)
製粉事業	1,326 [60]
食品事業	3,185 [1,556]
その他事業	698 [222]
本社(共通)	373 [55]
合計	5,582 [1,893]

※従業員数は就業人員であり、臨時従業員は[]内に年間の平均人員を外数で記載しています。

製粉事業

パン・麺・菓子メーカー様の商品づくりのコンセプトに合わせ、小麦の挽き方や配合を工夫し、数百種類の小麦粉を開発・提案しています。また、新しい食文化の創造や新業態開発にも挑戦し続けています。

食品事業

加工食品事業

パスタやパスタソース、から揚げ粉、お好み焼粉、ケーキミックスなどミックス製品、うどん等の乾麺などといった「常温食品」「冷凍食品」のほか、「食肉加工品」を展開しています。



中食・惣菜事業

和のおかずやサラダといった惣菜を製造し、パック詰めにした商品を販売。主に量販店の惣菜売り場にて季節の味をお届けしています。



酵母・バイオ事業

製パン・製菓業界向けにパン酵母、フィリング、マヨネーズといった多様な素材を提供しています。また、80年間にわたり培った培養技術を生かし、診断薬原料や医薬品の研究開発支援資材・サービスなどを提供しています。



健康食品事業

栄養補助食品の通信販売を中心に、医薬品原薬、医薬製剤の製造・販売も行っています。世界に先駆けてコエンザイムQ10の工業化に成功し、水溶性タイプの開発で高い評価を得ています。



その他事業

ペットフード事業

「ペットの元気と長生きのために」を企業理念とし、ペットの健康の基本である「食生活」の向上を目指し、安心かつ高品質なペットフードを研究・開発し、販売しています。



エンジニアリング事業

食品・医薬品・化成品などの製造設備から工場建設にいたるまでの広範囲な「エンジニアリング事業」のほか、世界レベルの高度な粉体加工技術を用い、「機器製作販売事業」「粉粒体加工事業」を展開しています。



41,500トン収容の大型穀物サイロ

メッシュクロス事業

最先端メッシュテクノロジーをベースに、スクリーン印刷用資材・産業用資材・化成品・防虫網など、あらゆる産業界へ製品を提供しています。



化成品一覧

新製品のご紹介

ふんわり仕上がるパンミックス もちり仕上がるパンミックス米粉入り

ホームベーカリーで焼いたパンは、時間が経つとふんわりとした食感が続きにくいことがありました。この新製品では、小麦粉や米粉を最適な分量で配合し、焼いた翌日もふんわり感が続くよう開発しました。



製粉事業

- 日清製粉株式会社
- フレッシュ・フード・サービス株式会社
- ヤマジョウ商事株式会社
- ロジャーズ・フーズ株式会社 (カナダ)
- 日清STC製粉株式会社 (タイ)
- NSTCトレーディング株式会社 (タイ)
- Miller Milling Company, LLC (アメリカ)
- Miller Milling Company, LP (アメリカ)
- Miller Trading Company, LLC (アメリカ)
- NSGI Holdings Inc. (アメリカ)
- 石川株式会社
- フォーリーブス株式会社 (シンガポール)

食品事業

加工食品事業

- 日清フーズ株式会社
- マ・マーマカロニ株式会社
- イニシオフーズ株式会社
- 大山ハム株式会社
- メダリオン・フーズ・インク (アメリカ)
- フード・マスターズ株式会社 (アメリカ)
- タイ日清製粉株式会社 (タイ)
- タイ日清テクノミック株式会社 (タイ)
- 新日清製粉食品 (青島) 有限公司 (中国)
- 日清製粉東酵 (上海) 商貿有限公司 (中国)
- 欧諾喜 (上海) 商貿有限公司 (中国)

酵母・バイオ事業

- オリエンタル酵母工業株式会社
- 株式会社パニーデリカ
- 株式会社OYCフーズネット
- 株式会社日本バイオリサーチセンター
- 北山ラベス株式会社
- 株式会社オリエンタルバイオサービス
- 株式会社ケービーティーオリエンタル
- OYC Americas, Inc. (アメリカ)
- OYC EU B.V. (オランダ)
- Oriental Yeast India Pvt. Ltd. (インド)
- オリエンタルサービス株式会社

健康食品事業

- 日清ファルマ株式会社

その他事業

ペットフード事業

- 日清ペットフード株式会社

エンジニアリング事業

- 日清エンジニアリング株式会社

メッシュクロス事業

- 株式会社NBCメッシュテック
- 株式会社NBCハイネット
- CNK株式会社
- 株式会社NBCメタルメッシュ
- P.T.NBCインドネシア (インドネシア)
- ダイナメッシュ・インク (アメリカ)
- 恩美絲 (上海) 紗網貿易有限公司 (中国)
- THAINAK INDUSTRIES CO.,LTD. (タイ)

配合飼料事業

- 日清丸紅飼料株式会社

その他

- 日清サイロ株式会社
- 阪神サイロ株式会社
- 信和開発株式会社
- 日本ロジテム株式会社
- 千葉共同サイロ株式会社

持株会社

- 株式会社日清製粉グループ本社
- 日清アソシエイツ株式会社
- 錦築 (煙台) 食品研究開発有限公司 (中国)

グローバルに展開する日清製粉グループ 世界のより多くの人々に 健康で豊かな生活を

日清製粉グループは、「安心・安全」な製品を海外の成長市場に展開することにより、世界のより多くの人々の健康で豊かな生活づくりに貢献していきます。

海外売上高比率 30%以上を目標に

日清製粉グループは、中期経営計画「NNI-120 スピードと成長、拡大」のもと、顧客満足度世界一の製粉会社となることを旗印に、近い将来グループの海外売上高比率 30%以上を達成することを目指し、新規海外事業の拡大

に注力しています。このため、東南アジア、中国、北米などの成長市場に向けて、製粉、ミックス、ベーカリー関連などの事業を積極的に展開しています。

世界最大の北米市場へ本格進出

●全米9位のミラー・ミリング社を買収

日清製粉グループ本社と日清製粉は、米国の製粉会社、Miller Milling Company (以下、「ミラー・ミリング社」)の全持分を取得する持分譲渡契約を締結しました。

ミラー・ミリング社は米国の東部および西部の消費地に近い地域に2工場を擁し、豊富な経験と優れた技術を有する全米9位の製粉会社で、パスタ、ベーカリー製品およびトルティーヤの各用途向けの小麦粉を主体に事業を展開しています。ミラー・ミリング社の既存の事業基盤に加え、日清製粉グループの製粉事業の強みである卓越した開発力・技術力、安定した品質の小麦粉供給力等を生かし、新たな市場を開拓することにより、さらなる事業の拡大を図る方針です。また、カナダ・ブリティッシュコロンビア州のグループ会社、ロジャーズ・フーズ社(小麦粉、プレミックスの製造・販売)とも連携し、グループでシナジーを発揮しながら、北米における事業拡大を加速していきます。

アジア市場における事業拡大

●タイにおける小麦粉生産量を2割増強

タイの製造拠点である日清STC製粉は、1991年に設立され、日清製粉の技術力・開発力・顧客サービス等のノウハウを活用して東南アジアにおける製粉事業の積極展開を図ってきました。今後は、工場の生産能力を2割増強

することでさらに供給体制を強化し、タイ国内にとどまらず東南アジア周辺国への輸出拡大も含めた販売伸長を継続していきます。

●中国市場での事業拡大

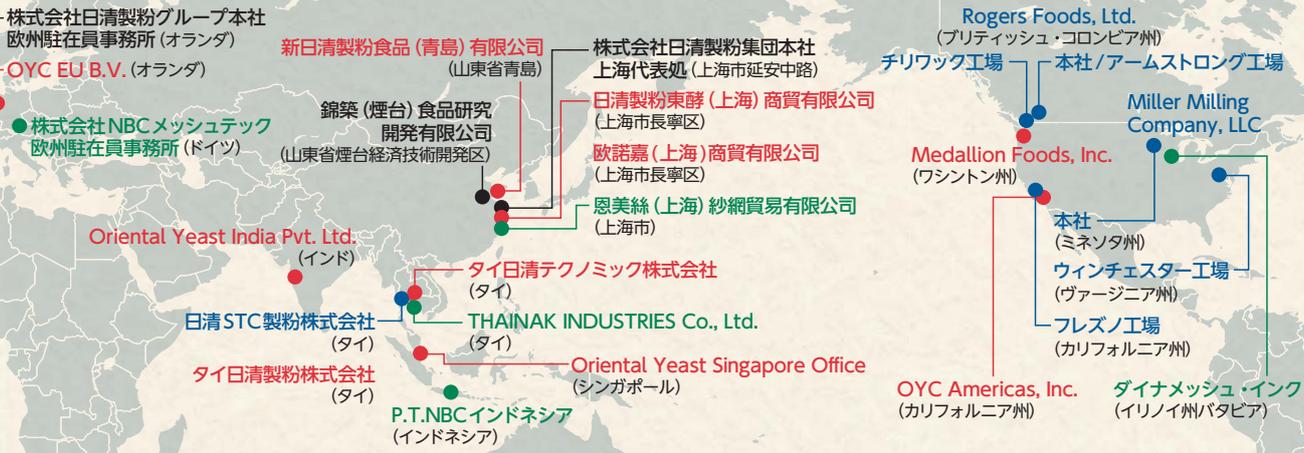
現在、中国のパン、洋菓子市場は、年率2桁の成長を見せています。日清製粉グループは、中国において、今年開業10周年を迎えた新日清製粉食品(青島)有限公司が製パン用プレミックス製造・販売を、フランスのユーロジャー姆社との合併会社である欧諾嘉(上海)商貿有限公司が製パン改良剤等の販売を行っており、日本のオリエンタル酵母工業もパン用商材を輸出しています。これらの会社は、販売会社の日清製粉東酵(上海)商貿有限公司と連携しながら、総合力で中国のベーカリー顧客や製粉会社に向けた事業の拡大を進めています。

●インド市場への本格進出

日清製粉グループ本社とオリエンタル酵母工業は、インドにおいて営業活動の拠点となる現地法人 OYC India Private Limited を設立しました。

インドはジェネリック医薬品等の世界的な製造拠点となりつつあり、バイオ事業の有望な市場であるだけでなく、巨大な人口と著しい経済成長に加え、ヨーロッパの食文化も受け入れられているなど、食品事業でも大きな市場として期待されています。オリエンタル酵母工業は、2006年よりインド向けに診断薬原料、医薬品原体等を輸

●製粉事業 ●食品事業 ●その他事業 ●持株会社



タイ日清STC製粉工場



増築されたP.T.NBCインドネシア



Miller Milling Company
フレズノ工場



Miller Milling Company
ウィンチェスター工場



出してきましたが、現地法人の設立によって、バイオ事業の一層の深耕・拡大と食品事業のベーカリー顧客向け製品等の市場開拓を積極的に行います。

●NBCメッシュテック、インドネシアで増産

NBCメッシュテックの子会社であるP.T.NBCインドネ

シアは、2011年12月に工場増築工事を完了し、生産能力を2倍に増強しました。2012年夏から、メッシュクロス増産をはじめ、自動車用、家電用フィルターの生産を開始しています。

TOPICS 海外事業における環境社会貢献

アメリカ 被災者への祈り Pray for Japan

オリエンタル酵母工業の米国法人・OYC Americas, Inc.では、オフィスが入っているビルの食堂で、一週間にわたり東日本大震災で被災された方々に向けた寄せ書きを募りました。社員の呼びかけで、その活動は幼稚園、小学校、ボーイスカウトにも広がり、計200通を超えるメッセージが集まりました。それらのメッセージは、日本語に翻訳され、2011年6月までに宮城県内の小学校や避難所に届けられました。



タイ ISO14001の認証を取得

日本国内向けのパスタソースや冷凍食品を製造しているタイ日清製粉は、2011年11月、日清製粉グループの海外事業場として初めて、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しました。事業の拡大で環境負荷が高くなる中、引き続きPDCAを回しながら環境管理の強化に取り組んでいきます。



カナダ ハイチ地震被災者への支援

カナダのロジャーズ・フーズ社では、2011年1月に発生したハイチ地震で被災した子どもたちのために、支援物資として小麦粉を寄贈しました。ハイチの小児院に届けられた小麦粉は地元のベーカリーでパンに焼かれ、家を失った子どもたちや地域の人々に配られました。

イノベーションによる社会への貢献 先進技術を生かして 社会の課題解決に貢献

環境保全への意識や健康志向の高まり、高齢社会の進展のなか、日清製粉グループではコア事業である製粉・食品事業で培った技術やノウハウを生かし、医療、健康、環境分野などで、社会の課題解決への貢献を目指しています。

酵母を原点とするバイオテクノロジーで ライフサイエンス研究や創薬に寄与する

オリエンタル酵母工業(株)

オリエンタル酵母工業は、1929年に日本最初の製パン用のイーストメーカーとして創立し、現在では製パン用イーストで国内トップシェアを有しています。無限の可能性を秘めた「酵母」を事業の原点として、イーストをはじめとする各種食品素材の提供から、飼料、さらにバイオ分野へと事業を拡大しています。

健康への欲求がさらに高まる21世紀において、大きな可能性を秘めているのがバイオ事業です。酵母などから抽出した有用物質やバイオテクノロジーによる有用たん白質を、診断薬用の原料や研究用の試薬として世界の市場に供給しています。また、酵母エキスなどの培養用基材の供給、ゲノム機能解析に有用な各種遺伝子改変動物の作出、医薬品・食品の安全性および薬効薬理試験などの受託業務を展開しています。



主な販売品目のひとつの酵素

放射性物質分析・検査サービス取扱いを開始

オリエンタル酵母工業は、Eurofins Scientific SE(ユーロフィン)と2007年4月より業務提携し、日本の食品分析市場へユーロフィンの残留農薬検査、カビ毒検査等を提供しています。2011年度、ユーロフィンの日本法人であるユーロフィンアナリティックスが日本国内で放射性物質分析・検査サービスを本格稼働したことから、チェルノブイリ事故以来の欧州放射性物質検査を技術移転した分析サービスを提供しています。

健康を志向する社会のニーズに応える

日清ファルマ(株)

高齢化が進み生活習慣病の問題も深刻さを増す現代、日清ファルマでは、健康食品事業を中心に、医薬品原薬、医薬製剤分野で開発に挑んでいます。コエンザイムQ10では世界に先がけて工業化に成功したパイオニアとして、水溶性タイプの開発等でも高い評価を受けています。

他にも、医薬品や健康食品に欠かせない「ソフトカプセル」の製造技術や油のような脂溶性素材を水に溶かす水溶性化技術はトップレベルです。

「ビフィコロン」は、豊富な繊維を持つ小麦の皮(ふすま)の研究に端を発する腸内菌叢の研究が、1980年代にはビフィズス菌の研究へと発展し、開発されたものです。ビフィズス菌を死滅させずに大腸まで運ぶためには、胃の中の「胃酸」と小腸内の「胆汁」、この2つから守る新しい技術が必要です。日清ファルマの強みであるカプセル技術力を生かしたダブルガードカプセルで、40億個のビフィズス菌を生きたまま大腸に届ける「ビフィコロン」の開発に成功しました。



ビフィコロン

アレルギー症状を緩和への寄与 機能性食品素材「青大豆EXパウダー」

日清ファルマは、静岡県立大学寄附講座との共同研究で、青大豆にアレルギーを緩和する作用や老化に伴う学習能力の低下を抑制する可能性を見出してきました。「青大豆EXパウダー」は国産の希少な青大豆で、独自の加工製法により微粉砕化し、水分散性が良い粉末に仕上げているため、さまざまな食品への応用が期待できます。

ライフスタイルの変化に対応する“時短調理”食品を開発

日清フーズ(株)

パスタ調理は湯を沸かすのに約10分、麺をゆでるのに約10分、ソースの調理も合わせて約30分かかるといわれています。消費者の調理時間短縮や省エネ志向にお応えするため、日清フーズは、独自の“風ぐるま形状”により通常の約半分のゆで時間を実現した「マ・マー スーパープロント 早ゆでスパゲティ」を提供しています。パスタの美味しさのポイントである弾力性や硬さ、歯切れの良さと、早ゆでという機能を高いレベルで同時に実現しました。ライフスタイルの変化に合わせた短時間調理のニーズに応えるとともに、ゆで時間が短くなった分、エネルギーを節約します。

日清フーズではこの他に、少量調理・時短調理のニーズを受けた直火を使わないから揚げ粉「レンジでジューシーから揚げ粉」なども提供しています。



「きれい、やさしい、安心」を人と地球に提供

(株)NBCメッシュテック

NBCメッシュテックは、高度なメッシュクロステクノロジーをベースに、スクリーン印刷用資材、産業用資材、電子部品、化成品などの製品を、あらゆる産業界へ提供しています。

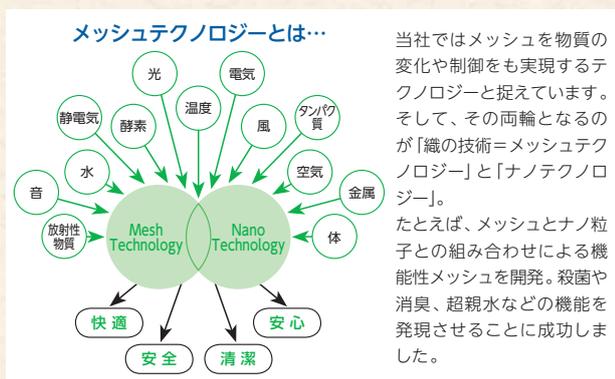
メッシュを物質の変化や制御をも実現するテクノロジーとして捉え、メッシュとナノ粒子との組み合わせによる機能性メッシュ「Nafitec®(ナフィテック)」を開発。殺菌や消臭、超親水などの機能を発現することに成功しました。

汚れのつきやすいビルの外壁への利用や、浄水設備の大幅な効率向上への貢献が期待されています。

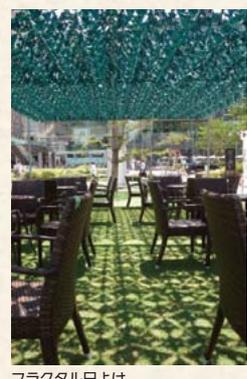
ウイルスや細菌による感染症の拡大が深刻な社会問題

となっているなか、2009年、新規抗ウイルス性と抗菌を有する「Cufitec®(キュフテック)技術」を開発し、この技術を活用した「Cufitec高性能マスク」を発売。高い技術性が認められ、成田空港検疫所で採用されています。

さらに、自然の木陰のような涼しさと快適さを作り出す「フラクタルひよけ」を発売しています。「フラクタル」というのは、葉脈や樹木の枝分かれのように自然界によく見られる幾何学模様です。この模様ヒントを得て、1枚の布地からシェルピンスキー四面体という形を縫い上げ、日差しをさえぎりながらも風通しのよいひよけが開発されました。自然に学んだ「フラクタルひよけ」は、従来のひよけに比べ輻射熱を緩和でき、省エネやヒートアイランド現象の緩和に貢献します。



当社ではメッシュを物質の変化や制御をも実現するテクノロジーと捉えています。そして、その両輪となるのが「織の技術=メッシュテクノロジー」と「ナノテクノロジー」。たとえば、メッシュとナノ粒子との組み合わせによる機能性メッシュを開発。殺菌や消臭、超親水などの機能を発現させることに成功しました。



フラクタルひよけ

ステークホルダーの 皆様との対話

日清製粉グループは、さまざまな機会を通じてステークホルダーの方々とコミュニケーションを図りながら、各ステークホルダーから積極的に支持されるグループになるよう努めています。

消費者の皆様と

消費者志向経営の羅針盤 CR室

CR (Consumer Relations) 室は2009年に経営直轄の組織として設立されました。CR室は、消費者の意識や社会の潮流を適確に見極めるとともに、事業部門を横断する消費者情報の共有と対応の一元化の役割を担っています。また、消費者団体の皆様と対話のできる関係づくりにも力を入れています。

消費者団体との意見交換会

CR室では、消費者団体の皆様と対話ができる関係づくりの第一歩として意見交換会を実施しています。2011年9月に(公社)全国消費生活相談員協会の関西支部の皆様を日清製粉(株)東灘工場に、11月には(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会東日本支部食生活研究会の皆様を鶴見工場にお迎えしました。

工場見学では、消費者の皆様が日ごろ疑問に思われていることにお答えする意見交換の時間を長く設け、国産小麦と輸入小麦の加工適性の違いを実感していただくため、実際に焼いたパンを試食して味わっていただいています。



出張講座

2012年6月、福岡市消費生活センターとの共催企画として、消費者教育講座を実施しました。前半は、小麦や小麦粉の生産・需要動向や製品安全をわかりやすく解説する“小麦粉のはなし”、後半はフラワー手づくり教室の講師による料理教室を実施しました。



お得意様と

神戸スイーツ・コンソーシアムへの協賛

「神戸スイーツ・コンソーシアム(KSC)」は、社会福祉法人プロップ・ステーションが中心となり、「スイーツの世界で活躍するチャレンジド(障がいのある人)を生みだそう!」というミッションを掲げて2008年6月に発足したプロジェクトです。日清製粉は、このプロジェクトの主旨に賛同し、社会福祉法人、行政、メーカー、卸売業などさまざまな支援者とともにKSCに協賛しています。

お菓子づくりには欠かせない小麦粉を扱う日清製粉は、原材料を提供する以外にも、講師となるパティシエや受講生が作業しやすい環境を整える裏方として、会場や技術スタッフを提供しています。あらゆる食品に姿を変えていく原材料としての小麦粉が、チャレンジドと社会をつなげる役割となることを目指しています。

2011年は、クラウド・コンピューティングとブロードバンド回線を利用して神戸、岡山、愛知の3会場の内1つの会場から、他の各会場映像を発信し、各地のチャレンジドが同時学習するという遠隔講習を行いました。



「サ・マーシュ」の西川講師による多彩な講習 神戸会場でのチャレンジドと作品に大いに盛り上がりました

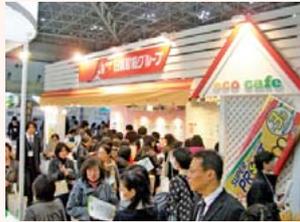
次世代を担う子どもたちと

エコプロダクツ 2011に出展

日清製粉グループは、2011年12月に東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された国内最大級の環境展示会

「エコプロダクツ2011～日本初！エコの力で明日を変える～」に出展しました。会期中の総来場者数は約18万人と昨年度より若干減少したものの、当社グループブースへは前回を上回るおよそ4,000人の方々にお越しいただきました。

カフェをイメージしたブースでは、「小麦粉を通して食からエコアクションを始めよう」をテーマに小麦粉と地球環境のかかわりや、環境に配慮した製品、節電レシピを紹介しました。



環境保全のための社会貢献活動

次世代を担う子どもたちが、地球環境問題や環境ビジネスについて知見を広められるよう社会貢献活動に取り組んでいます。

●出張授業

子どもたちの生活に身近な小麦粉や食品などを題材とした環境教育プログラムを小学校や中学校に提供しています。



●みどりの小道 環境日記への協賛

(財)グリーンクロスジャパンが主催する「みどりの小道」環境日記に、2010年度から協賛しています。



●環境ビジネスコンテストへの協賛

学生環境NPO em factoryが主催する「全国学生環境ビジネスコンテスト」に2006年度から協賛しています。コンテスト終了後は、学生から提案されたプランをもとに、環境担当者と学生との対話を行っています。



株主の皆様と

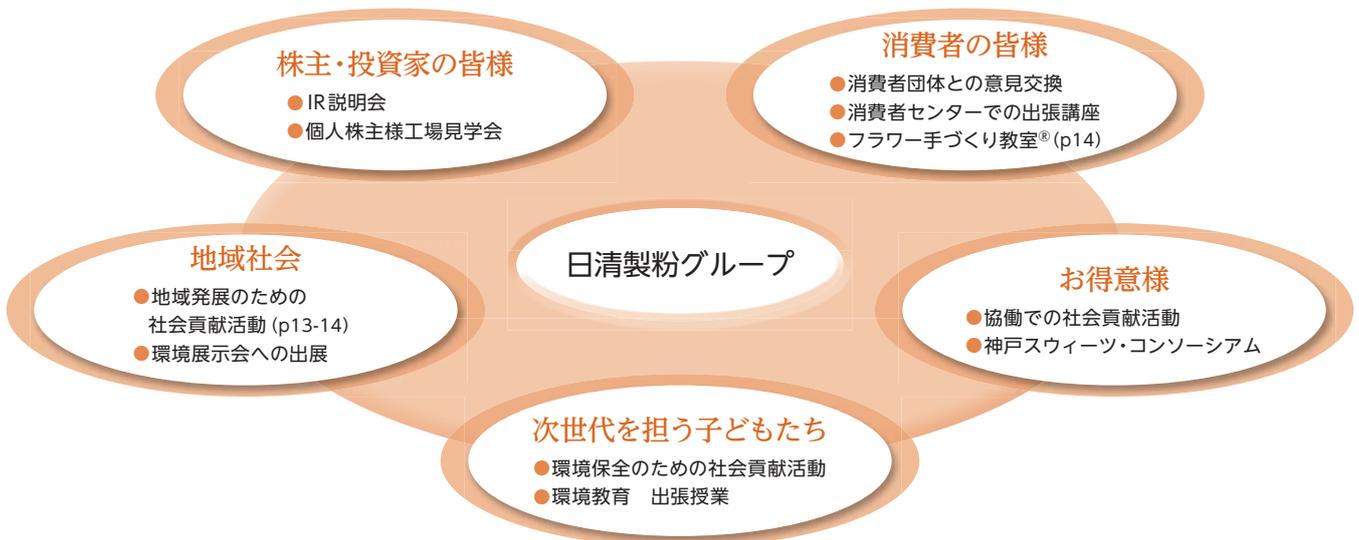
株主様工場見学会

日清製粉グループ本社の個人株主様を対象としたアンケート調査で、工場見学を希望する声が多く聞かれたことを受け、個人株主様を対象とした工場見学を行っています。第1回目は、2012年3月12日に日清製粉(株)東灘工場にて開催しました。原料小麦の受け入れから小麦粉の製造および出荷までの工程をご覧いただき、多くの株主の皆様より当社グループ事業への理解が深まったとの言葉をいただきました。また、工場見学後の質疑応答の時間には、貴重なご意見をいただき、有意義なコミュニケーションを図ることができました。



工場見学会に参加された株主様からの声

- 清潔な工場で感心した。また、安全性への気配りを感じ、製品への信頼感が増した。
- 品質管理、オートメーション化等がよくされており、当社を見直した。
- 株式の連絡等で行き届いた会社との印象を持っており、良い社風を守って欲しい。
- 安心・安全の商品づくりに期待しています。これからも食品・人の安全・安心第一をお願いします。



ステークホルダーの皆様への責任を果たす

日清製粉グループを取り巻く各ステークホルダーに対し、信頼を得るため、さまざまな活動を行っています。

お客様とともに

消費者視点での品質保証

●品質保証責任者制度

工場には生産部門から独立し、消費者視点で品質を保証する品質保証責任者が駐在しており、工場での最終出荷判定を行っています。

●セイフティレビュー

新規企画製品や新規原材料は、各事業会社で専門知識を持つ技術者が集まり、「セイフティレビュー」という審査で、食品の安全性を総合的に評価します。評価項目は、法令遵守確認、食品としての危害分析、ユニバーサルデザイン、環境配慮など幅広く、新製品が全評価項目の基準を満たすまで審査が行われます。

●新規原材料・新製品についての最終検査

「セイフティレビュー」に合格した新規原材料・新製品は、グループ本社のQEセンターで残留農薬等の最終検査を行い、原材料の採用可否および新製品の販売可否を決定しています。

●AIBやISOなどのツールを活用し、製品の品質・安全性を保証

AIB国際検査統合基準やISO22000およびISO9001を導入し、現場管理とマネジメントシステムの向上に取り組んでいます。

●NQ監査および第三者診断

製商品の品質設計から製造、品質管理、出荷にいたるまでのすべての段階で実施している製品安全対策が適切に実施されているかを「NQ監査 (Nisshin Quality Assurance Audit)」により確認しています。また、品質保証活動が適正に行われていることを保証するために、日清製粉グループと利害関係のない第三者による診断を受けています。

●表示の適正性モニタリング

日清製粉グループでは各事業会社が責任を持って表示の適正性の確保に努めるとともに、グループ本社が表示の適正性のモニタリングを実施しています。

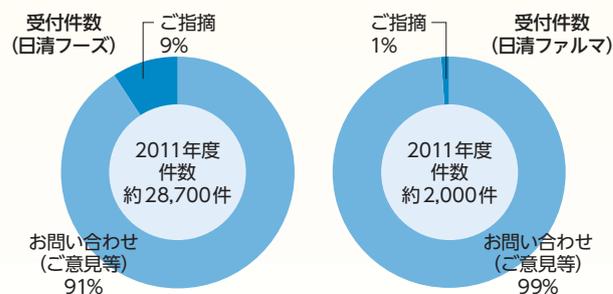
消費者の皆様の声を活かす

●お客様相談室

日清フーズと日清ファルマの家庭用製品についてのお問い合わせやご指摘への窓口として、「お客様相談室」を設置し、常に消費者の皆様にご満足いただけるよう努めるとともに、信頼向上に取り組んでいます。

また、直接お問い合わせのあった消費者の皆様だけではなく、より多くの消費者の皆様にお伝えできるよう、主なお問い合わせ内容をウェブサイト「お客様窓口」の「よくあるご質問FAQ」に掲載しています。

WEB:お客様窓口 <http://www.nisshin.com/customer/>



東日本大震災と福島原発事故の影響で、受付件数が大幅に増加しました。

●品質改善会議

「お客様相談室」は、日清フーズと日清ファルマの新製品やリニューアル製品の発売前に、表示内容のわかりやすさや正確さを消費者の目線でチェックし、表示承認を行っています。また発売後の製品について、日清フーズの品質保証・生産・開発研究の各部門担当者を集めて「品質改善会議」を開催し、消費者の皆様からの声を検討し、改善につなげています。

●日清ペットフード お客様相談室

飼い主様からのペットフードのご相談は、ペットに関する知識が必要なため、専用のお客様相談室を日清ペットフード内に設けています。

株主・投資家の皆様とのかかわり

●SRI インデックスへの組み入れ

日清製粉グループ本社は2003年から連続して、FTSE4Good Index*の構成銘柄に組み入れられています。 **FTSE4Good**



*ロンドン証券取引所と英フィナンシャル・タイムズ紙の出資する、国際的指標会社FTSE社が開発した世界でもっとも有力なSRIインデックス

社員とのかかわり

人間性を尊重した働きやすい職場づくり

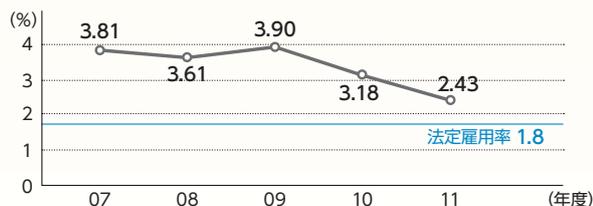
人種・国籍・性別・年齢・障がいの有無をはじめ、価値観・宗教・信条等の違いを認め合い、互いを尊重し合う職場づくりを目指し、グループ主要各社を中心に、人権研修をはじめとした啓発活動を推進しています。

●障がい者の雇用促進

当社グループでは、障がい者の採用を積極的に行っており、日清製粉グループ本社では法定雇用率1.8%を上回る2.4%（2011年度）の障がい者雇用率となっています。また、当社グループの主要各社*でも法定雇用数を満たす、全体で1.85%の障がい者雇用率となっています。

*（株）日清製粉グループ本社、日清製粉（株）、日清フーズ（株）、日清ペットフード（株）、日清ファルマ（株）、日清エンジニアリング（株）、日清アソシエイツ（株）の7社に、2010年度より、オリエンタル酵母工業グループ、NBCメッシュテックグループを加算。

障がい者雇用率（日清製粉グループ本社単独）



●次世代育成対策推進法への取り組み

グループ各社では、社員が仕事と育児を両立しやすい環境を整備すべく、「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画」に取り組んでおり、子育て支援対策に取り組む企業として認定を受けています。

グループ各社の認定取得状況

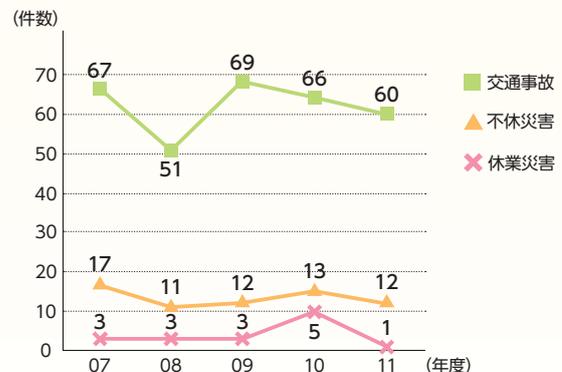
取得年	取得会社名
2007	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉（株）、日清フーズ（株）、日清ファルマ（株）、オリエンタル酵母工業（株）
2008	大山ハム（株）
2009	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉（株）、日清フーズ（株）、日清ファルマ（株）
2011	オリエンタル酵母工業（株）、(株)日清製粉グループ本社、日清製粉（株）、日清フーズ（株）、日清ファルマ（株）
2012	オリエンタル酵母工業（株）

社員の安全と健康のために

●労働災害の発生状況

2011年度は、休業災害1件と前年度より大幅に減少し、不労災害も12件と前年度より減少しました。交通事故も、60件と前年度より減少しました。発生した労働災害については事例を共有し、必要な対策を講じています。

労働災害発生状況の推移



TOPICS 品質保証・食品安全で高評価を獲得

●日清製粉がFSSC22000の認証取得、全工場でAIBスーパー評価を獲得

日清製粉では2000年より、AIBフードセーフティー（GMP）に基づいた取り組みを推進してきました。現在までの継続的な改善が評価され、2011年は全工場において最高評価のスーパーAを獲得しました。

また、国際的な食品安全マネジメントシステムFSSC22000*の認証を2012年6月11日に取得しました。

*世界的な流通およびサプライヤーの組織であるGFSI（国際食品安全イニシアティブ）が、国際的な食品マネジメントシステムとして承認している規格。国内の製粉会社で本社と国内全工場を一体として同規格の認証を取得したのは初めての事です。

●オリエンタル酵母工業でAIBスーパー評価を獲得

オリエンタル酵母工業では、大阪工場並びにびわく工場においても、2011年度、スーパーA評価を取得しています。



オリエンタル酵母工業（株）大阪工場

社会とのかかわり

日清製粉グループは、よき企業市民としての責任を自覚し、地域社会のみならず、広く社会に対して積極的に貢献活動を行い、豊かな社会の実現に寄与します。社員は地域行事の参加などをはじめとして、地域社会との交流を深め、友好・親睦を図るとともに、広く社会貢献に努めます。

東日本大震災復興支援

昨年度に引き続き、日清製粉グループは東北地方の復興のために、「今できること」を考え、取り組んでいます。

チャリティ製パン講習会に協賛

日清製粉(株)、他

2012年3月13日、人気店のオーナーシェフなどが集まってパンづくりの技を伝えるチャリティ製パン講習会が日清製粉(小網町加工技術センター)で開催されました。日清製粉グループ内では、日清製粉は会場を提供、フレッシュ・フード・サービス、オリエンタル酵母工業、大山ハムの3社が材料を協賛しました。受講料は全額、義援金として日本赤十字社に寄付されました。

被災地のチャレンジドをパティシエに養成

日清製粉(株)

日清製粉は、社会福祉法人プロップ・ステーションが2008年に発足した、パティシエ(菓子職人)を目指すチャレンジド(=障がいのある人)を支援するプロジェクト「神戸スウィーツ・コンソーシアム(以下KSC)」に毎年、協力しています。2012年度は仙台市内の6作業所から13人のチャレンジドが受講しています。

ピッツアの炊き出し活動

フレッシュ・フード・サービス(株)

フレッシュ・フード・サービスは、真のナポリピッツア協会日本支部が2011年7月から2012年6月までのべ8回行った宮城県石巻市でのピッツアの炊き出し活動に食材等の協賛を行い、店舗「パルテノペ」の従業員有志が参加しました。

売り上げの一部を被災地支援に 大山ハム(株)

大山ハムは「2011秋の感謝セット」の売り上げの一部を、東北へのボランティア派遣や鳥取県に避難された方への支援費用として、2011年11月に鳥取県に寄附しました。

食べて応援しよう!日本がんばれフェア

オリエンタル酵母工業(株)

オリエンタル酵母工業では「食べて応援しよう!日本がんばれフェア」を2011年6月に実施しました。東北地方の食材を使った総菜(製パン用調理フィリング)やクリームなどをお得意様に積極的に提案しました。

国連 WFP 協会への支援

日清製粉グループは、主要穀物である小麦を扱う企業として、飢餓と貧困の撲滅を使命とするWFP 国連世界食糧計画の主旨に賛同し、2005年9月に認定NPO法人国連WFP協会評議会に加入しました。以後、社員から推進メンバーを募って「WFP チーム・ペガサス」を組織し、募金をはじめとする自主的な活動を行っています。

地域社会の発展のために

盲導犬育成ワンステップキャンペーン 日清ペットフード(株)

日清ペットフードは、社会貢献活動の一環として、盲導犬の育成・普及を図りたいという思いから、NPO法人 全国盲導犬施設連合会へ寄付をする「ワンステップキャンペーン」をユニ株式会社との共同企画として行いました。

「盲導犬の育成をいまずぐできる」をテーマに、2012年3月1日から5月31日までアピタ・ピアゴにて販売された日清ペットフード全製品の売上金の一部(1%)を寄付しました。



チャリティー製パン講習会



食べて応援しよう! 日本がんばれフェア



盲導犬育成「ワンステップキャンペーン」で感謝状を授与



「Konaフェスタ2011」開催

食をつくる楽しさ・大切さを伝える

「Kona フェスタ 2011」開催

小麦粉 (Kona) をさまざまな料理として味わい、Konaと遊び、体験しながらKonaについて学び、食の大切さも理解していただけるイベント「Kona フェスタ」を開催しています。第3回となる「Kona フェスタ 2011」には国営昭和記念公園 (東京都立川市) に2日間で約16,000人が来場されました。

手づくり教室

日清製粉グループでは、身近な食材「小麦粉」にもっと親しんでいただくために、さまざまな教室を開催しています。

●フラワー手づくり教室[®]

パンをはじめとした小麦粉料理の講習を月に数回開催しています。

●出張講習会

学校の授業やクラブ活動、公民館などの催しにむけて、専門の講師を派遣しています。

●特別教室

小学生の親子を対象に、手づくりの楽しさを子供たちに伝える教室を定期的に開催しています。

WEB: 特別教室のレポート

<http://www.nisshin.com/entertainment/school/special/>

●ふれあいの会製パン講習会 オリエントル酵母工業 (株)

食品開発センター (大阪) では、地域の小学生と保護者を対象に、イーストの歴史を学びながら楽しくパンづくりを行う会を開催しています。



「ふれあいの会」パン教室開催

全国高校生料理コンクールに協賛

全国高等学校家庭クラブ連盟 (FHJ) 主催・日清製粉グループ協賛で、「全国高校生料理コンクール」を、年1回開催しています。2011年度で第42回を迎え、第7回から毎年協賛しています。

WEB: 全国高校生料理コンクール

<http://www.nisshin.com/entertainment/highschool/>



第40回「全国高校生料理コンクール」最優秀賞
「ネギ・コン和洋ロール」



(財)食生活研究会主催
第19回「食と健康」講演会への支援



「日本フィルハーモニー交響楽団
夏休みコンサート」に協賛



「NBCメッシュテックシルクスクリーン
国際版画ビエンナーレ展」開催

食生活の改善・向上

食と健康講演会

(株)日清製粉グループ本社が支援している(財)食生活研究会は、食生活の改善・向上を目指して、講演会・研究助成などの活動を行っています。2011年11月15日には第19回「食と健康」講演会を開催 (毎年1回開催) し、東北大学大学院薬学研究所教授 山添康氏、和洋女子大学学長 坂本元子氏より講演いただきました。

豊かな生活文化への貢献

日本フィルハーモニー交響楽団夏休みコンサート

(株)日清製粉グループ本社は、「日本フィルハーモニー交響楽団 夏休みコンサート 2011」(7月16日～31日、8会場12公演)に単独協賛しました。37周年を迎えたこのコンサートに日清製粉グループは1978年以来、毎年単独協賛を続けています。これまで113万人を超える方々にクラシック音楽の入門編として親しまれてきました。

三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー事業に協賛

(株)日清製粉グループ本社は、2008年3月から社会貢献活動の一環として三鷹の森ジブリ美術館の行うライブラリー事業に協賛を続けています。2011年度は新たに「ねこバスから見た風景展」にも協賛しました。

シルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展

(株)NBCメッシュテック

NBCメッシュテックは、メッシュを利用したスクリーン印刷の普及をはじめ、印刷技法・表現の向上、作家の育成、芸術・文化活動への貢献を目的に、2007年度から「シルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展」を開催しています。3回目となる2011年度は国外26カ国102点を含む総数289点もの応募があり、入選・入賞作品約100点は、美術家連盟画廊 (東京・銀座) に展示されました。

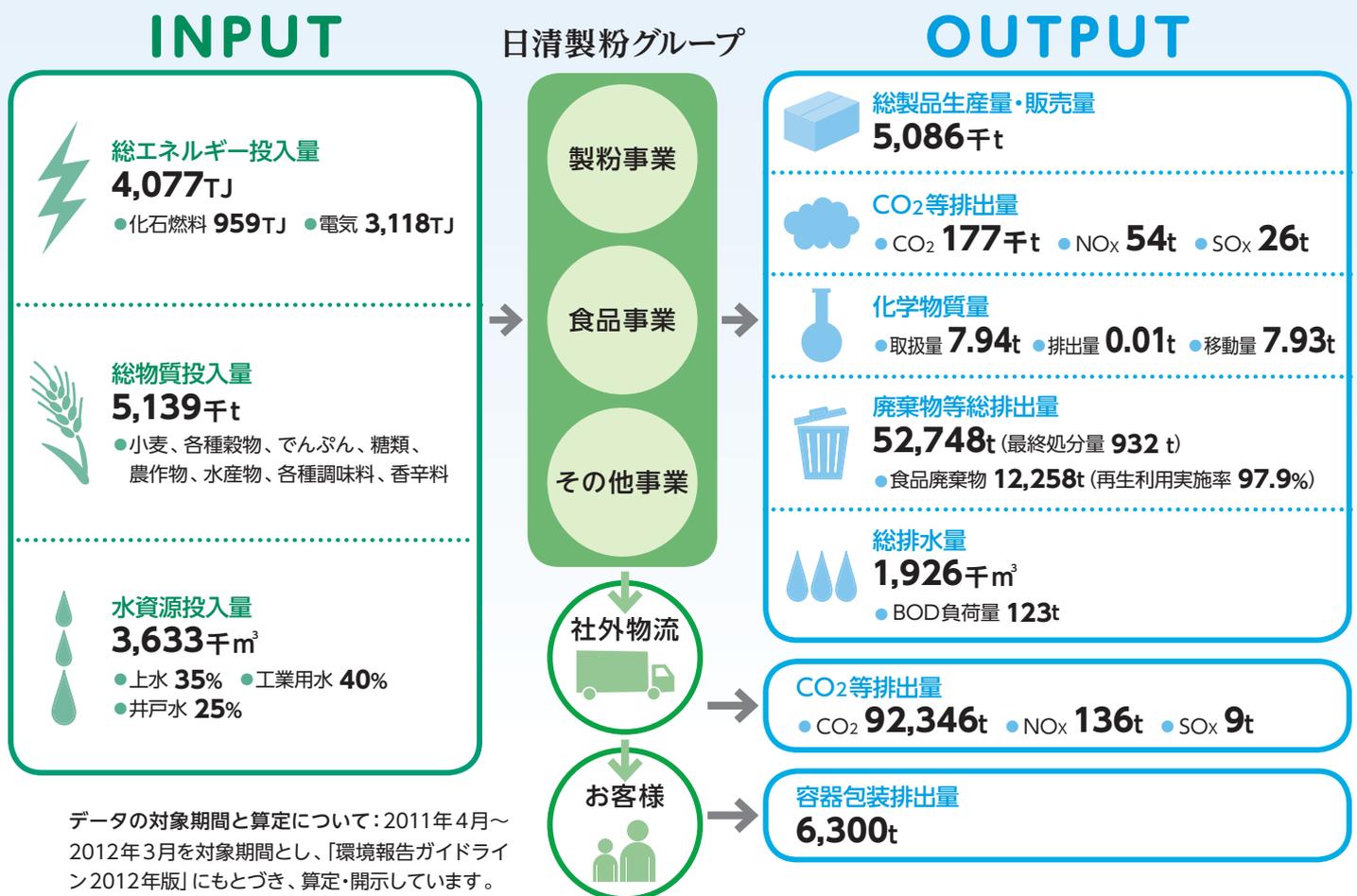
地球環境とのかかわり

企業活動によって生ずる環境への影響は地球環境全体にも影響すること、地球環境保全は企業の存続と活動の必須要件であることを認識し、「日清製粉グループ環境基本方針」にもとづき、自主的・積極的に廃棄物やCO₂を削減するとともに、資源やエネルギーの有効活用を図る等の環境保全活動を推進します。

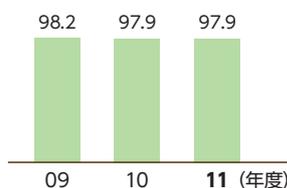
マテリアルバランス

日清製粉グループの事業活動には、さまざまな工程や段階がありますが、主な環境影響として、製造における電力を中心としたエネルギーの使用や水の利用、CO₂や廃棄物などの排出が挙げられます。原料や資源の投入か

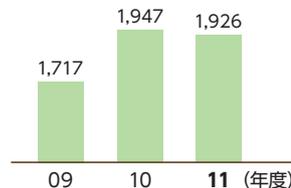
ら製造や物流、さらにお客様が製品を消費して廃棄するまでの環境影響を把握し、適正な管理に努めることにより、私たちの事業や製品からの環境負荷をなるべく少なくできるようにグループ全体で取り組んでいます。



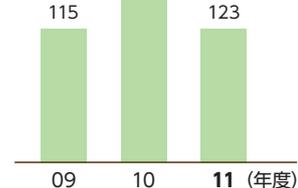
食品廃棄物の再生利用等実施率の推移 (%)



総排水量の推移 (千m³)



年間BOD負荷量の推移 (t)



環境マネジメント

環境担当取締役のもと、グループ環境基本方針に従って、環境に配慮した経営を推進しています。

独自の厳しい基準にもとづいたグループ環境監査により、環境に関連した法令遵守や目標の達成状況などを確認しています。また、工場・研究所・営業部署などのオフィスも含めて、ISO14001統合認証を取得し、外部審査や内部審査などの評価を通じて、環境マネジメントシステム(EMS)の運用状況を確認しながら、継続的な改善を行っています。

地球温暖化防止

2011年度のCO₂総排出量は、生産量の増加などの影響により、前年度に比べ1.9%増加しましたが、1990年度から11.2%の削減となり、グループ削減目標を達成しました。工場では運転管理について、オフィスでは空調やOA機器など、グループ全体で電力の利用を徹底的に見直しました。これからも、よりエネルギー効率の高い設備や再生可能エネルギーの利用を推進し、さまざまな方法で地球温暖化対策を進めていきます。

廃棄物削減

当社グループでは、2011年度から従来よりも算定対象範囲を広げ、2000年度を基準とするさらに高い目標管理へ移行しました。

2011年度の廃棄物最終処分量は、2000年度の水準から約96%の削減となりました。これからも資源の有効活用に努め、排出物の発生抑制に取り組んでいきます。

生物多様性への配慮

日清製粉グループの事業や製品にとって自然の恵みは欠くことのできないものです。将来に渡って、自然の恵みが人々の健康で豊かな生活づくりの支えになるよう、取り組んでいます。

霧多布湿原ナショナルトラストを支援

北海道厚岸郡浜中町にある霧多布湿原は国内では3番目に大きな湿原で、多様な生物を育み、水鳥の生息地としても非常に重要な湿地として、ラムサール条約に登録されています。日清製粉グループ本社は、この素晴らしい湿原を未来に伝えるため、民有地の買い取りや湿原の保全活動を行っている認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストを支援しています。

ISO14001統合認証対象範囲	
(株)日清製粉グループ本社/日清製粉(株)/日清フーズ(株)/日清ペットフード(株)/日清ファルマ(株)/日清エンジニアリング(株)/日清アソシエイツ(株)/日清サイロ(株)/阪神サイロ(株)/マ・マーマカロニ(株)/大山ハム(株)の国内の生産工場/サイロ/研究所/本社オフィスおよび地区オフィスの営業部などの各部署	

グループ環境監査実績

	実施事業会社数	実施事業場数	監査結果	
			改善命令	改善勧告
09年度	11	27	6	2
10年度	10	30	4	6
11年度	13	30	1	3

グループのCO₂排出量(輸配送は除く)(千t-CO₂/年)



グループの廃棄物最終処分量



※海外子会社は除く



湿原とエゾカンゾウ

初夏には、黄色いエゾカンゾウなどが湿原一面を彩るため、花の湿原とよばれています。

消費者志向経営と非営利活動の視点から

冊子版「社会・環境レポート2012」に対する第三者意見をいただきました。



ふるや ゆきこ 古谷由紀子氏

公益社団法人日本消費生活アドバイザー・
コンサルタント協会 (NACS)
常任顧問

中央大学法学部卒業後、法律事務所勤務等
を経て消費者の視点の経営、コンプライア
ンス、CSRを中心に活動。2012年より現職。
またISO/SR国内対応委員、「社会的責任に
関する円卓会議」運営委員を務める。

持続可能な社会に必要な「社会課題」の 取り組みの進展へ

貴社グループでは、多様な課題に積極的に取り組んで
います。またほかにも社会委員会という貴社独自の
仕組みをもち、消費者の安全や表示など現在の社会で
問題となっていることにもリーダーシップを持って解
決に努力されているとかがっています。今後はさら
に戦略的に、持続可能な社会に求められる社会課題を
明確化・重点化して取り組み、レポートにも反映され
ることを期待します。

「対話」の充実とともに、さらに「協働」の取り組みへ

消費者のみならず消費者団体との積極的な対話を
行っており、これらは貴社グループの方針や経営体制
が着実に消費者志向経営であることを表していると思
います。特に、食については、安全や環境など消費者
に大きな影響を及ぼし、容易に解決ができない課題が
多く、消費者（団体）との協働による解決が必要とされ
ています。対話の充実とともに、さらに協働の取り組
みへの進展を期待します。

CSRを担う人材育成について

貴社グループは創業以来、常に時代に適合する「志
の高い人材の育成」をされているとのことであり、CSR
を担う人材育成についてもレポートなどで紹介してい
ただければと思います。貴社グループにおいては、企
業を取り巻く社会課題に敏感に反応し、ステークホル
ダーとともに解決できる人材育成を期待しています。



あかばね まきこ 赤羽真紀子氏

CSRアジア 東京事務所 日本代表

早稲田大学で政治学と生物学を修める。さ
まざまな業種の多国籍企業のCSR担当とし
て通算10年以上の経験を有し、スターバッ
クスコーヒージャパン、セールスフォース
ドットコム、日興アセットマネジメントの各
社で関連部署の立ち上げを手がけた。2010
年より現職。

今年度から「スピードと成長、拡大」という2020年
を見据えた中期経営計画を策定され、海外事業の拡大
を最優先にさせるという方向性の通りに、グローバル
での環境と社会のさまざまな取り組みに力を注がれて
いることがよく伝えられているレポートだと思います。
「世界のより多くの人々に健康で豊かな生活を」という
特集は、日清製粉グループがグローバルのリーダー企
業として製粉業界を牽引していこうという意欲がよく
表れています。

グローバル企業として「健康」について取り組む

しかし、グローバル企業として成長し、拡大するに
は、対処していかなければならない課題も多くなるだ
ろうと思います。「健康で豊かな生活づくりに貢献す
る」ということを企業理念としてもつ日清製粉グルー
プは、健康や食の問題について世界中のステークホル
ダーから多くの期待が寄せられるようになるでしょう。
例えば、食料が豊富過ぎることからくるナトリウムや
糖類の過剰摂取が健康問題となっている国もある一方
で、開発途上国では必要な栄養素すら摂取できない現
実があります。また、中国やアジアをはじめ世界中で
は食の安全への関心が極めて高く、企業にその対応を
求めています。製粉という本業を通じ、経営理念にも
関わる「健康」についての世界課題を解決することに取
り組まれることを期待します。

持続可能なサプライチェーン・マネジメントへの期待

また、持続可能なサプライチェーン・マネジメントを
企業が行うことに対する期待が世界的に高まっていま
す。原材料を加工し、お客様に供給するところについ
て詳しく書かれていますので、次のステップとしては
原材料の生産に関わる人々の生活や生産地の環境課題
などが本レポートを通じてステークホルダーと共有さ
れることを期待します。

ミュージアムのご紹介

発祥の地、群馬県館林市に製粉ミュージアムがオープンします

群馬県館林市に世界的に見ても貴重な製粉（小麦・小麦粉）をテーマにした企業ミュージアム“製粉ミュージアム”を開設します。（2012年11月グランドオープン）

製粉ミュージアムは、本館、新館、日本庭園で構成します。本館は明治創業時代の歴史的価値の高い洋風木造建築物で、製粉ミュージアムのシンボルと位置づけ、当社の創業者精神をはじめとした会社の歴史と伝統に触れていただく空間を演出します。新館では製粉の歴史や、小麦が小麦粉になるまでのものづくりの工程をわかりやすく紹介します。



東武鉄道館林駅西口に直接面し、新たな館林市の顔となる製粉ミュージアムは同市の全面的な協力を得て観光資源や教育資産として寄与することが期待されます。



コミュニケーションツールのご紹介

ウェブサイト「CSRの窓」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ウェブサイト「CSRの窓」では、本冊子では紹介しきれない詳細な取り組みを紹介しています。

<http://www.nisshin.com/csr/>

- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 社長メッセージ ● CSRのあゆみ ● ステークホルダーとの対話 ● 特集 ● 経営体制 <ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートガバナンス ・社会的責任への基本姿勢とマネジメント ● 社会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・お客様とともに ・お取引先とともに | <ul style="list-style-type: none"> ・株主・投資家の皆様とともに ・社員とともに ・社会とのかかわり ● 環境保全 <ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメント ・マテリアルバランス ・地球温暖化防止 ・廃棄物削減と資源循環 ・環境に配慮した製品・サービス ● 第三者意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 理念・方針 <ul style="list-style-type: none"> ・企業理念・経営基本方針 ・企業行動規範 ・社員行動指針 ・環境基本方針 ・ユニバーサルデザイン方針 ● 社会・環境レポートダウンロード ● 財団法人 食生活研究会 |
|--|--|---|

その他のコミュニケーションツール・・・・・・・・・・・・・・・・

経済、環境、社会性に関する右記の情報を当社ウェブサイトで紹介しています。



スペシャルサイト「あんしんの礎」
<http://www.nisshin.com/csr/anshin/>

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 株主報告（日本語／英語） ● 決算短信（日本語／英語） ● 社会・環境レポート ● 安心・安全への取り組み
スペシャルサイト「あんしんの礎」 | <ul style="list-style-type: none"> ● 児童向けCSR
スペシャルサイト「こなニレーション」「こなドベンチャー」「こなRPG」 |
|---|---|



日清製粉グループ
社会・環境レポート2012

発行 2012年9月

発行者 株式会社日清製粉グループ本社
東京都千代田区神田錦町一丁目25番地

問い合わせ先 株式会社日清製粉グループ本社
技術本部 環境管理室

TEL.03-5282-6570 FAX.03-5282-6155

ホームページ <http://www.nisshin.com/>



この冊子に使用している用紙の
売り上げの一部は、生物多様性
を保全する活動に寄付されます。



石油系溶剤を植物油系成分
に置き換えた印刷インキを
使用しています。



印刷工程で有害廃液を
出さない水なし印刷方
式で印刷しています。



印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます。PS12-0009